



3040 40U キャビネット

E-Series storage systems

NetApp
January 20, 2026

目次

3040 40U キャビネット	1
3040 40Uキャビネットへのトレイの設置 (Eシリーズ)	1
3040 40Uキャビネット (Eシリーズ) のキャビネット仕様	1
電力要件と冷却	4
トレイの最大数	6
3040 40Uキャビネット (Eシリーズ) に必要な工具と機器を揃えます。	6
3040 40Uキャビネット (Eシリーズ) の移動準備	8
手順 1 : キャビネットの重量を見積もります	8
手順 2 : キャビネットを適応させる	10
手順 3 : 梱包材を取り除く	11
手順 4 : 梱包内容を確認します	11
手順 5 : キャビネットから重量のあるコンポーネントを取り外す	11
3040 40Uキャビネットの最終設置場所への移動 (Eシリーズ)	12
3040 40U (Eシリーズ) のキャビネット設置後の処理	13
手順 1 : 水平調節脚と安定脚を下げます	13
手順 2 : トレイを再度取り付けます	14
手順 3 : ケーブルスプールとタイラップを取り付ける	15
手順 4 : 追加のトレイを取り付ける	16
手順 5 : 追加のマウントレールを取り付ける	17
手順 6 : キャビネットを電源に接続する	20

3040 40U キャビネット

3040 40U キャビネットへのトレイの設置（Eシリーズ）

E シリーズ 3040 40U キャビネットには、次のコントローラドライブトレイと拡張ドライブトレイを取り付けることができます。

- E2612、E2624、および E2660 コントローラのドライブトレイ
- E2712、E2724、E2760 コントローラドライブトレイ
- E5412、E5424、および E5460 コントローラのドライブトレイ
- E5512、E5524、E5560 コントローラドライブトレイ
- E5612、E5624、E5660 コントローラドライブトレイ
- EF540 / EF550 / EF560 フラッシュアレイ
- DE1600、DE5600、および DE6600 ドライブトレイ

次の SAS-3 コントローラシェルフとドライブシェルフをキャビネットに取り付けることもできます。

- E2812 / E2824 / E5724 コントローラシェルフ
- DE212C / DE224C ドライブシェルフ

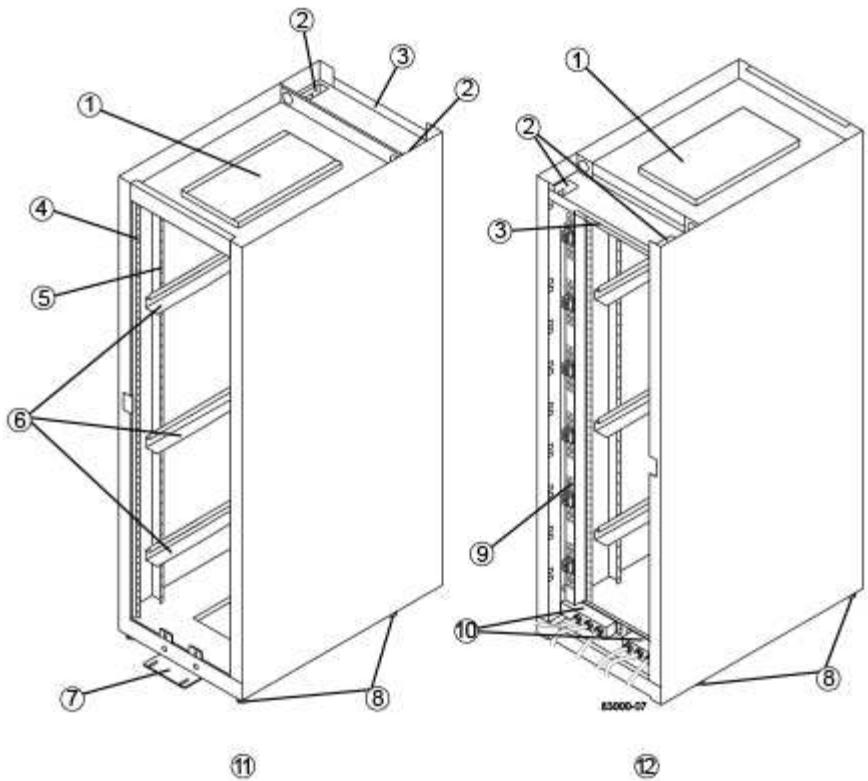
ただし、これらのシェルフの仕様は記載されていません。を参照してください "NetApp Hardware Universe の略"。

3040 40U キャビネット（Eシリーズ）のキャビネット仕様

モデル 3040 40U キャビネットは、以下の標準機能を備えています。

- 背面ドア。ラッチ機構付きでロック可能です
- 標準の Electronic Industry Association (EIA) 規格の支持レール - 標準的な 48.3cm (19 インチ) 幅のキャビネットにデバイスを設置するための取り付け穴付き
- キャビネットを移動するためにキャビネットの下に配置された 4 つのローラキャスターと 4 つの水平調節脚で、キャビネットを最終的な設置場所に水平に調整できます
- 安定脚 - 最終設置場所に設置したキャビネットを固定します
- インターフェイスケーブルの開口部にアクセスします
- 電源接続と電力処理能力を統合した 2 つの AC 配電ユニット (PDU)

次の図は、キャビネットの前面図（左）と背面図（右）を示しています。



1.

換気口カバー

2.

インターフェイスケーブルアクセス用開口部

3.

リアプレート

4.

EIA 支持レール

5.

支持レール

6.

キャビネットマウントレール

7.	
	安定脚
8.	
	水平調節脚
9.	
	配電ユニット（2つのうちの1つ）
10.	
	AC 電源入力ボックス
11.	
	キャビネットの前面
12.	
	キャビネットの背面



* 負傷のリスク * - キャビネットの下半分を空けた状態で、キャビネットの上半分にコンポーネントを取り付けないでください。キャビネットの下半分に対して上半分が重すぎると、キャビネットが倒れて原因負傷するおそれがあります。コンポーネントは、必ずキャビネット内の最も低い位置から順に設置してください。



* 負傷のリスク * — コンポーネントを取り付けたキャビネットは、フォークリフトまたは十分な人員で移動しないでください。キャビネットの転倒を防ぐために、必ずキャビネットを前面から押してください。フル装備のキャビネットの重量は 909kg（2,000 ポンド）を超えることがあります。キャビネットを動かすのは平らな場所でも大変な作業です。キャビネットを傾斜面で移動する必要がある場合は、キャビネットの上半分からコンポーネントを取り外し、十分な人員を確保してください。



E2860 コントローラシェルフ、E5760 コントローラシェルフ、DE460C ドライブシェルフは、3040 40U キャビネットに設置できません。



3040 キャビネットに DE6600 トレイをフル装備した場合の重量は、1250.1kg（2,756 ポンド）を超えます。

電力要件と冷却

ここでは、キャビネットの電力と冷却の仕様について説明します。

電力定格

3040 40U キャビネットの定格は 200VAC~240VAC 、 50Hz~60Hz で、この ± 10% で動作します。

配電ユニット（ PDU ）

キャビネットには同一の配電ユニット（ PDU ）が 2 つ搭載されており、各 PDU が最大 72A の電力を供給します。 PDU はキャビネットの背面に垂直に取り付けられており、それぞれの 12A の電源バンクが 6 個装備されています。各電源バンクには、 IEC 60320-C19 電源コンセントが 4 個と、 15A の回路ブレーカーが内蔵されています。各 PDU は合計 24 個のコンセントと 6 個の回路ブレーカーを備えています。

各 PDU に 3 つの電源入力ボックスがあり、キャビネットの下部に配置されています。各電源入力ボックスは、次のように 8 つの電源コンセントに電力を供給します。

- ・ 電源入力ボックス 1 は、電源コード C1 から下部の 8 個のコンセントに電力を供給します
- ・ 電源入力ボックス 2 は、電源コード C2 から中央の 8 個のコンセントに電力を供給します
- ・ 電源入力ボックス 3 は、電源コード C3 から上部の 8 個のコンセントに電力を供給します

電源入力ボックスには C1 、 C2 、 C3 のラベルが付いており、ここから電源コードがモジュールに接続されます。

キャビネットの電力計算と熱量計算

コンポーネント	kVA	ワット	BTU/ 時
キャビネットの PDU （ 72A PDU ）	14.4	14400	49176
キャビネットの PDU / 12A バンク（ 72A PDU ）	2.40 *	2400 *	8196 *
E2612 コントローラのドライブトレイ	0.437	433	1476
E2624 コントローラのドライブトレイ	0.487	482	1644 年
E2660 コントローラのドライブトレイ	1.128	1117	3810
E2712 コントローラドライブトレイ	0.516	511	1744

コンポーネント	kVA	ワット	BTU/ 時
E2724 コントローラドライブトレイ	0.561	555	1894 年
E2760 コントローラドライブトレイ	1.205	1193.	4072
E5412 コントローラのドライブトレイ	0.558	552	1883 年
E5424 コントローラドライブトレイと EF540 フラッシュアレイ	0.607	601	2051 年になります
E5460 コントローラのドライブトレイ	1.254	1242	4237
E5512 コントローラドライブトレイ	0.587	581	1982 年
E5524 コントローラドライブトレイと EF550 フラッシュアレイ	0.637	630	2150
E5560 コントローラドライブトレイ	1.285	1272	4342
E5612 コントローラドライブトレイ	0.625	619	2111
E5624 コントローラドライブトレイと EF560 フラッシュアレイ	0.675	668	2279
E5660 コントローラドライブトレイ	1.325	1312	4477
DE1600 ドライブトレイ	0.325	322	1099
DE5600 のドライブトレイ	0.375	371	1267
DE6600 のドライブトレイ	0.1.011	1001	3415

トレイの最大数

3040 40U キャビネットに取り付けることのできるトレイの最大数は、ラックユニット（U）で表した各トレイの高さによって異なります。

ラックユニット（U）で表したトレイの高さ

1 ラックユニットは 4.45cm（1.75 インチ）です。たとえば、4U トレイは最大 10 個、2U トレイは最大 20 個、2U トレイと 4U トレイは組み合わせて最大 40U 取り付けることができます。

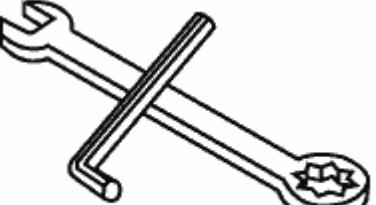
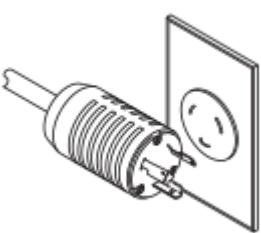
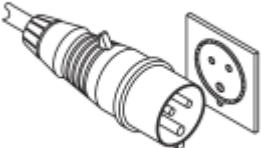
トレイ	ラックユニット（U）
E2x12 または E2x24 コントローラドライブトレイ	2U
E2x60 コントローラドライブトレイ	4U
E5x12 または E5x24 コントローラドライブトレイ	2U
E5x60 コントローラドライブトレイ	4U
EF5x0 フラッシュアレイ	2U
DE1600 ドライブトレイ	2U
DE5600 のドライブトレイ	2U
DE6600 のドライブトレイ	4U

3040 40U キャビネット（Eシリーズ）に必要な工具と機器を揃えます。

3040 40U キャビネットを設置する前に、必要な工具と機器が揃っていることを確認します。

ステップ

1. 次の表に示すすべての項目を収集します。

項目	キャビネットに付属しています
 83009-02	<p>*3/4 インチレンチ *（輸送木箱に同梱）—キャビネット下の水平調節脚を上下するために使用します</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1/4 インチアレンレンチ *—キャビネット前部の安定脚を上下するために使用します
<ul style="list-style-type: none"> • NEMA L6-30 * 	<p>*AC 電源コード *-- キャビネットを外部電源（壁面プラグ）に接続するために使用します</p> <ul style="list-style-type: none"> • NEMA L6-30 コネクタは、米国とカナダで使用されます。 • IEC-60309 コネクタは、米国とカナダ以外の国で使用されます。 <p> 各 PDU を独立した電源に接続する必要があります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • IEC-60309** 	 <ul style="list-style-type: none"> • SAS ケーブル **（オプション）-各ドライブトレイに2本のケーブルが付属していますが、ホスト側のケーブルは別途購入する必要があります。 • 通信ケーブル **（オプション）-トレイをホストに取り付けるために使用します。 <p>その他の必要な項目については、該当するコントローラドライブトレイの設置ガイドを参照してください。</p>

項目	キャビネットに付属しています
	<ul style="list-style-type: none"> マウント可能なケーブルスプール ** - ケーブルをまとめたり配線したりするために、両側に縦に並んだ電源コンセントに沿って取り付けます。各コントローラードライブトレイには2個のケーブルスプールが付属していますケーブルスプールは、スタンドアロンのドライブトレイにも付属しています。
	<ul style="list-style-type: none"> せん断 ** - 輸送木枠の金属バンドを切断します。
	<ul style="list-style-type: none"> フォークリフト ** (オプション) - 輸送パレットからキャビネットを取り出すために使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> 前面パネルキット ** (オプション) - キャビネット前面の空のベイをカバーします。
	<ul style="list-style-type: none"> 静電気防止用バッグ ** (オプション) - キャビネットの設置手順で取り外したコンポーネントを保護するために使用します。

3040 40Uキャビネット (Eシリーズ) の移動準備

キャビネットを納入場所から移動するための準備として、キャビネットの総重量を概算し、キャビネットを室内温度に適応させ、梱包材を取り除き、梱包内容を確認します。

手順1：キャビネットの重量を見積もります

キャビネットは総重量が 909.1kg (2,000 ポンド) 以内であれば確実かつ安全に運搬できます。キャビネットを安全に移動できるように、おおよその重量を把握しておく必要があります。

手順

- 次の表を使用して、キャビネットの総重量を見積もります。

キャビネットの総重量は、キャビネットに取り付けるトレイの数とタイプによって異なります。

コンポーネント	重量	注:
キャビネット	138.80 kg (306.0 ポンド)	背面ドアを取り付けた状態で空になっています
配電ユニット (PDU) (ペア)	19.96 kg (44.0 ポンド)	
マウントレール (ペア)	1.59 kg (3.50 ポンド)	
E2612 コントローラのドライブトレイ	27 kg (59.52 ポンド)	最大構成
E2624 コントローラのドライブトレイ	26.12 kg (57.32 ポンド)	最大構成
E2660 コントローラのドライブトレイ	105.2 kg (232 ポンド)	最大構成
E2712 コントローラドライブトレイ	27.12 kg (59.8 ポンド)	最大構成
E2724 コントローラドライブトレイ	26 kg (57.32 ポンド)	最大構成
E2760 コントローラドライブトレイ	105.2 kg (232 ポンド)	最大構成
E5412 コントローラのドライブトレイ	27.92 (61.52 ポンド)	最大構成
E5424 コントローラのドライブトレイ	26.92 kg (59.32 ポンド)	最大構成
E5460 コントローラのドライブトレイ	105.2 kg (232 ポンド)	最大構成
E5512 コントローラドライブトレイ	28.89 kg (63.7 ポンド)	最大構成
E5524 コントローラのドライブトレイ	27.9 kg (61.52 ポンド)	最大構成
E5560 コントローラドライブトレイ	107.13 kg (236.2 ポンド)	最大構成

コンポーネント	重量	注:
E5612 コントローラドライブトレイ	28.89 kg (63.7 ポンド)	最大構成
E5624 コントローラドライブトレイ	27.9 kg (61.52 ポンド)	最大構成
E5660 コントローラドライブトレイ	107.13 kg (236.2 ポンド)	最大構成
EF540 フラッシュアレイ	23.64 kg (52.12 ポンド)	最大構成
EF550 フラッシュアレイ	24.63 kg (54.32 ポンド)	最大構成
EF560 フラッシュアレイ	24.63 kg (54.32 ポンド)	最大構成
DE1600 ドライブトレイ	26.3 kg (58 ポンド)	最大構成
DE5600 のドライブトレイ	25.31 kg (55.8 ポンド)	最大構成
DE6600 のドライブトレイ	104.1 kg (229.6 ポンド)	最大構成

2. 次の注意事項を確認してください。



キャビネットを最終的な設置場所に移動する前に、DE6600 ドライブトレイからすべてのドライブを取り外してください。



* 機器が破損する可能性 * - DE6600 ドライブトレイを搭載したキャビネットは、出荷重量を軽くするためにドライブを取り外した状態で出荷されます。DE6600 ドライブトレイを搭載したキャビネットは、フル装備の重量が 1247.3kg (2750 ポンド) を超える可能性があるため、必ずキャビネットを所定の位置に移動してからドライブを装着してください。また、キャビネットの設置場所の床耐荷重がこの重量に対応していることを確認します。



* トレイコンポーネントが破損する可能性 * - DE6600 ドライブトレイは平らな場所に置かないでください。DE6600 ドライブトレイは、ドロワーを作動させたり動かしたりする前にキャビネットに取り付けてください。

手順 2 : キャビネットを適応させる

梱包材を取り除く前に、キャビネットとトレイを室内環境に適応させます。

手順

- 屋外の温度が 0 °C (32 °F) を下回っている場合は、結露を防ぐために、キャビネットとトレイを輸送木箱に入れたまま少なくとも 24 時間室内に放置します。

2. 到着時の屋外の温度に応じて、24時間の待機時間を延長または短縮します。



* トレイコンポーネントの破損の可能性 * — キャビネットとトレイが納入されたときに屋外の温度が 0 °C (32 °F) を下回っていた場合は、すぐに開梱しないでください。冷たくなったコンポーネントを暖かい室温にさらすと、原因による結露が生じてコンポーネントが破損したり故障したりする可能性があります。

手順 3：梱包材を取り除く

キャビネットが室温に適応したら、梱包材を取り除きます。

手順

1. 梱包箱の前面に記載されている開梱手順を参照してください。
2. 同梱されている手順書に従って梱包材を取り除きます。

手順 4：梱包内容を確認します

梱包内容を調べて、すべての機器が届いたことを確認します。

手順

1. 納入された機器と梱包明細書を比較します。
2. すべての機器が届いたことを確認します。
3. 足りない項目がある場合は、営業担当者にお問い合わせください。

手順 5：キャビネットから重量のあるコンポーネントを取り外す

安定性を確保するために、キャビネットの上部から重量のあるコンポーネントをいくつか取り外します。

作業を開始する前に

- キャビネットを移動する前に、最大重量が 2000 ポンドを超えないようにしてください。
- トレイ、コンポーネント、およびケーブルを取り外すときは、元の場所に再度取り付けるよう、事前に場所をメモしておきます。

手順

1. ケーブルを外す必要がある場合は、あとで再び取り付けられるように、ケーブル構成を記録しておいてください。
2. キャビネットの上半分にあるドライブトレイとコントローラドライブトレイを取り外します。すべてのコンポーネントを同じトレイから一緒に保管します。



各トレイの背面にある電源装置やその他のコンポーネントを取り外す必要はありません

3. 各コンポーネントを別々の静電気防止用バッグに入れます。元の梱包箱がある場合は、コンポーネントを輸送するために使用します。

3040 40Uキャビネットの最終設置場所への移動（Eシリーズ）

3040 40U キャビネットには、最終的な設置先に移動するための頑丈なキャスターが付いています。

作業を開始する前に

- フォークリフトを使わずにキャビネットをパレットから取り出す手順を確認します。

輸送木箱には、備え付けの傾斜板と手順書が同梱されています。梱包箱の前面に記載されている開梱手順を参照してください。

- 搬入口とキャビネットの最終設置先の間にあるスロープをすべてチェックします。

キャビネットがスロープ上にあるとき、またはキャビネットを傾けたときに、キャビネットの重心がキャビネットの底面積からはみ出さないようにする必要があります。

このタスクについて

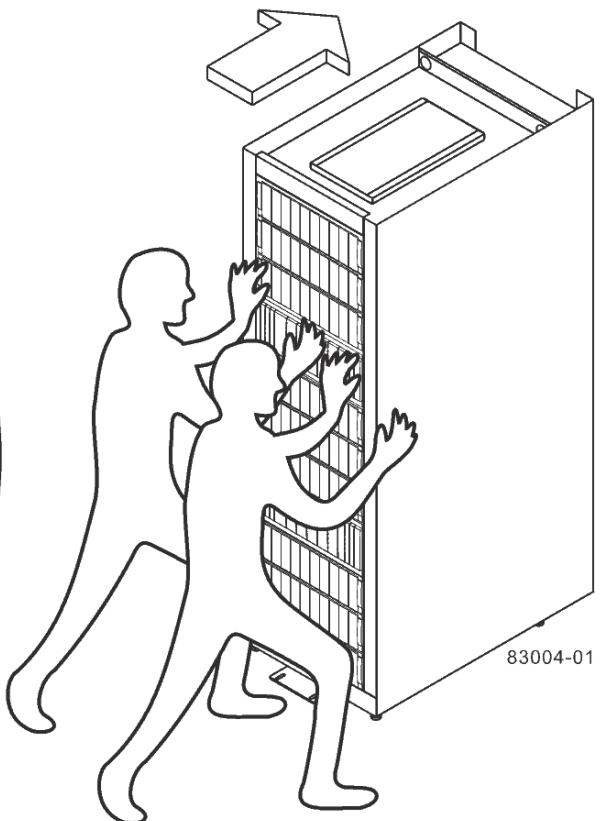
多くのキャビネットにはドライブトレイが搭載されています。このため、ほとんどの重量がキャビネットの前面に集中し、重心が前面に近くなります。

手順

1. キャビネットを最終的な場所に安全に運ぶために、最上部のデバイスを取り外してください。角度が 10 度を超えるスロープがある場合は、この点が特に重要となります。
2. 次の図に示す正しい方法でキャビネットを最終設置先に移動します。必ずキャビネットの背面ではなく前面を押してください。



Rear of Cabinet



Front of Cabinet

3040 40U (Eシリーズ) のキャビネット設置後の処理

キャビネットの移動が完了したら、水平調節脚と安定脚を下げ、取り外したコンポーネントを再度取り付け、その他の必要なコンポーネントを取り付けて、キャビネットを電源に接続します。

手順 1：水平調節脚と安定脚を下げます

キャビネットの脚を調整してキャビネットを安定させます。水平調節脚は、キャスターを浮いた状態にしてキャビネットを支えます。安定脚は、最終的な設置先に配置したキャビネットの転倒を防止します。

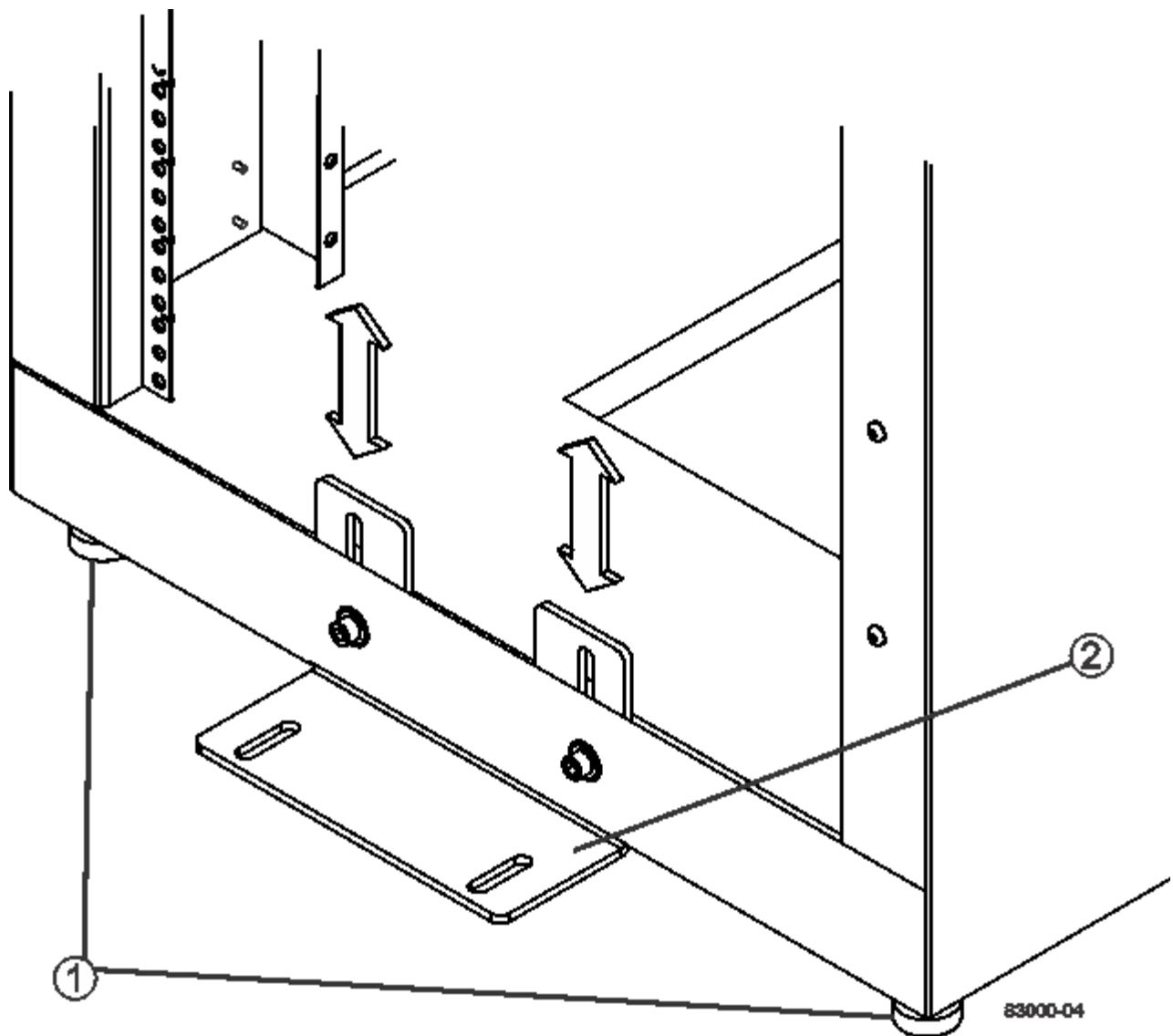
手順

1. キャスターを浮いた状態にしてキャビネットを支えるために、水平調節脚を下げる調整します。

水平調節脚はキャビネットの底部の隅にあります。

2. キャビネットが可能なかぎり水平になっていることを確認します。

次の図は、安定脚と水平調節脚の拡大図です。



1.

水平調節脚

2.

安定脚

手順 2：トレイを再度取り付けます

キャビネットを移動したら、トレイを元の場所に再び取り付けることができます。



次のトレイはキャビネットの上部にヘッドから取り付けないでください。フル装備したときの各トレイの重量は 100kg (220 ポンド) を超えます。キャビネットの上部に取り付けると、このトレイで最も重いキャビネットが形成され、E2660、E2660、E2760、E5460、E5560 のバランスが容易になることがあります。および E5660 コントローラドライブトレイ、および DE6600 ドライブトレイ

手順

- すべてのトレイをキャビネットの元の場所に再び取り付けます。



* 負傷の危険性 *—空のトレイの重量は約 56.7 kg (125 ポンド) です。空のトレイを安全に移動するには、3名で運搬する必要がありますトレイにコンポーネントが装備されている場合は、電動リフトで運搬する必要があります

- すべてのコンポーネントをトレイの元の場所に再び取り付けます。

アドレスの競合やデータアクセスの中断を防ぐために、すべてのコンポーネントを同じトレイの同じ場所に戻してください

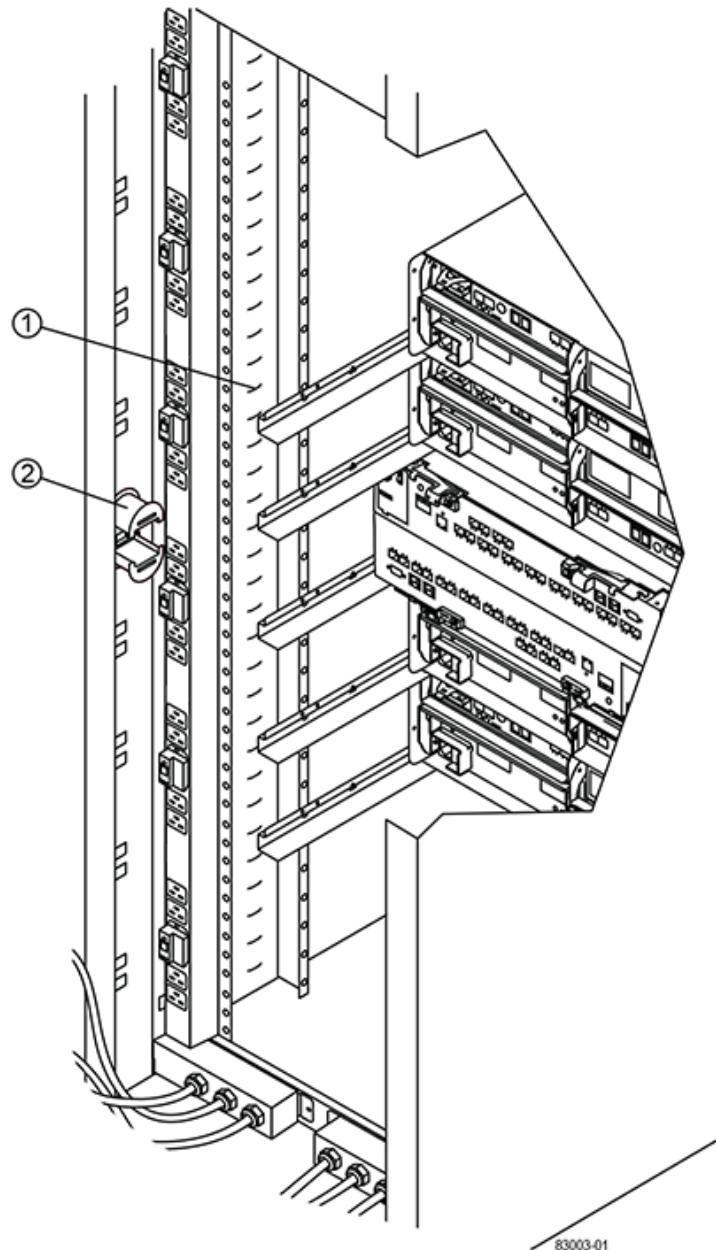
- すべてのケーブルをトレイの元の場所に再び取り付けます。
- インターフェイスケーブルをキャビネットに配線します。
- キャビネットの主電源コードを、2つの外部電源に配線します。現在のところ、電源コードを接続しないでください。

手順 3：ケーブルスプールとタイラップを取り付ける

トレイを再度取り付けたら、ケーブルスプールとタイラップを取り付けます。ケーブルスプールとタイラップは、ケーブルをまとめる場合や、コントローラとトレイのケーブル配線に使用します。

ステップ

- ケーブルスプールとタイラップは、両側に縦に並んだ電源コンセントに沿って取り付けます。



1.

タイラップの場所

2.

ケーブルスプール

手順 4：追加のトレイを取り付ける

必要に応じて、追加のトレイを取り付けることができます。空いているトレイスペースはカバーして通気を確保する必要があります。

手順

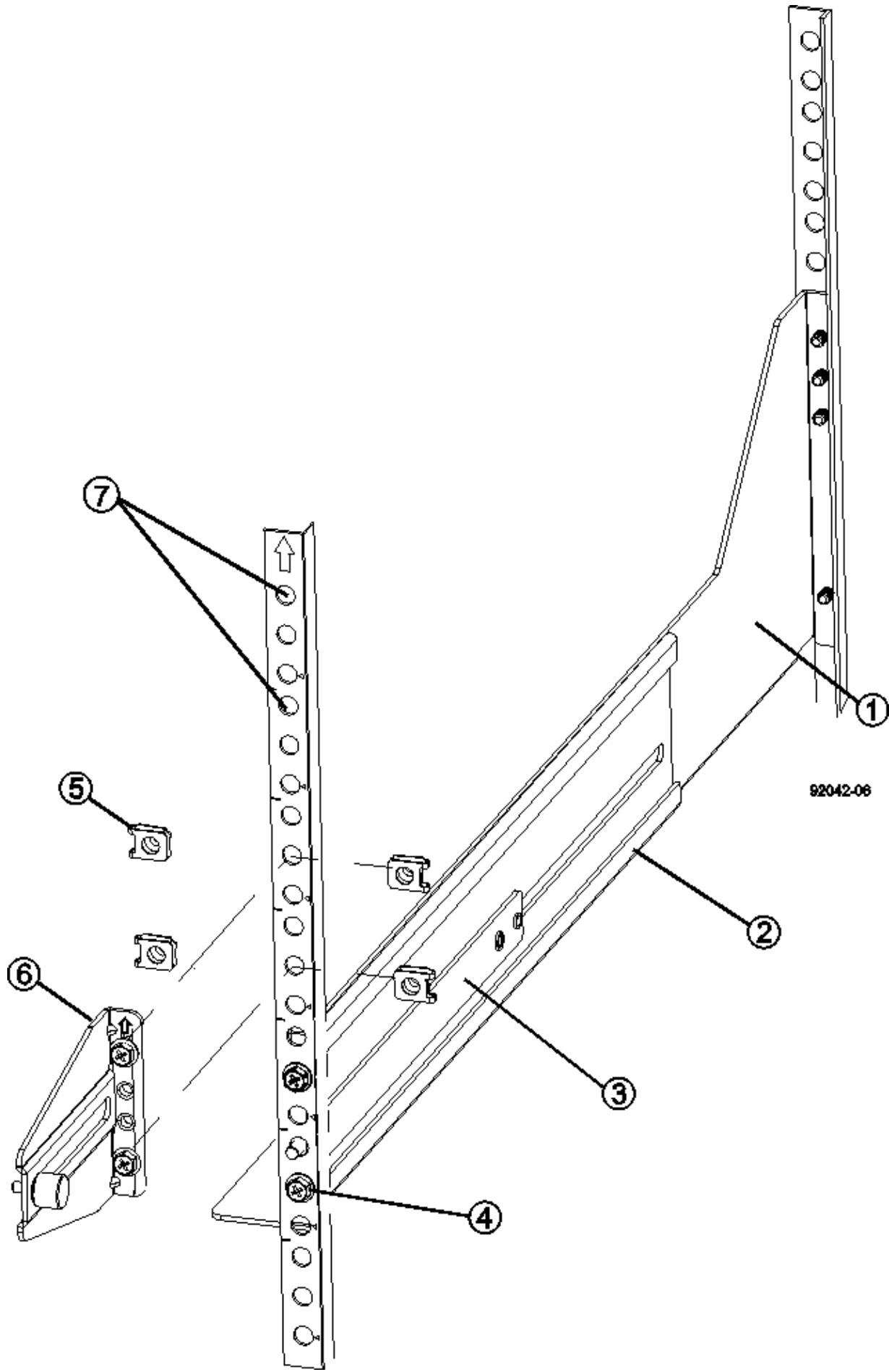
1. 追加のトレイを取り付ける必要がある場合は、それらのトレイの取り付け用ハードウェアを取り付けます。
2. キャビネットに空きがある場合は、トレイの上または下の空いているスペースを前面パネルキットで覆います。
キャビネット内の通気を維持するためには、空いているスペースをカバーする必要があります。
3. トレイの電源をオンにします。

手順 5：追加のマウントレールを取り付ける

別々に出荷された（キャビネットに取り付けられていない）コントローラドライブトレイを取り付ける場合は、キャビネットに追加のマウントレールが必要になることがあります。

手順

1. マウントレールの場所を決定します。
 - * 既存のトレイの上 *—キャビネットの上部トレイのすぐ上にマウントレールを配置します
 - * 既存のトレイの下 *—取り付けられているトレイを保持するのに十分なスペースがある取り付けレールを配置します
 - 2U コントローラドライブトレイまたはドライブトレイの場合は 8.9cm (3.5 インチ)
 - 4U コントローラドライブトレイまたはドライブトレイの場合は 17.8 cm (7 インチ)
2. 右前部と左前部の支柱にある計測マーカーを使用して、マウントレールをキャビネットの両側の同じ位置に取り付けます。



1.	
	前部アジャスタブルレール
2.	
	後部アジャスタブルレール
3.	
	調整プレートとネジ
4.	
	レール用 M5 × 10mm マウントネジ
5.	
	クリップナット
6.	
	後部押さえブラケット
7.	
	垂直サポート



3040 キャビネットにレールを取り付けるときは、クリップナットと後部押さえブラケットを使用しません。

3. 後部アジャスタブルレールを支柱に配置します。
4. 後部アジャスタブルレールの穴を支柱の穴の前面に合わせます。
5. M5 × 10mm ネジを 2 本取り付けます。
 - a. 支柱から後部アジャスタブルレールにネジを通します。
 - b. ネジを締めます。
6. 前部アジャスタブルレールを支柱に配置します。
7. 前部アジャスタブルレールの穴を支柱の穴の前面に合わせます。
8. M5 × 10mm ネジを 2 本取り付けます。
 - a. 支柱から前部アジャスタブルレールの一番下の穴にネジを通します。

b. 支柱から前部アジャスタブルレールの上部 3 つのうち中央の穴にネジを通します。

c. ネジを締めます。



残りの 2 つのネジ穴は、トレイの取り付けに使用します

9. 手順 3 から 8 を繰り返して、キャビネットの反対側に 2 本目のレールを取り付けます。

10. 該当するトレイの取り付け手順に従って、各トレイを取り付けます。

11. 次のいずれかのオプションを選択します。

◦ トレイのスペースがすべて埋まっている場合は、トレイの電源を入れます。

◦ トレイのスペースがすべて埋まっているわけではない場合は、前面パネルキットを使用して、取り付けられているトレイの上または下にある空きスペースを覆います。

手順 6：キャビネットを電源に接続する

キャビネットの設置を完了するには、キャビネットのコンポーネントの電源をオンにします。

このタスクについて

トレイの電源をオンにする手順の間、トレイの前面と背面の LED が点滅します。構成によっては、電源投入手順が完了するまでに数分かかることがあります。

手順

1. キャビネットのすべてのコンポーネントの電源をオフにします。

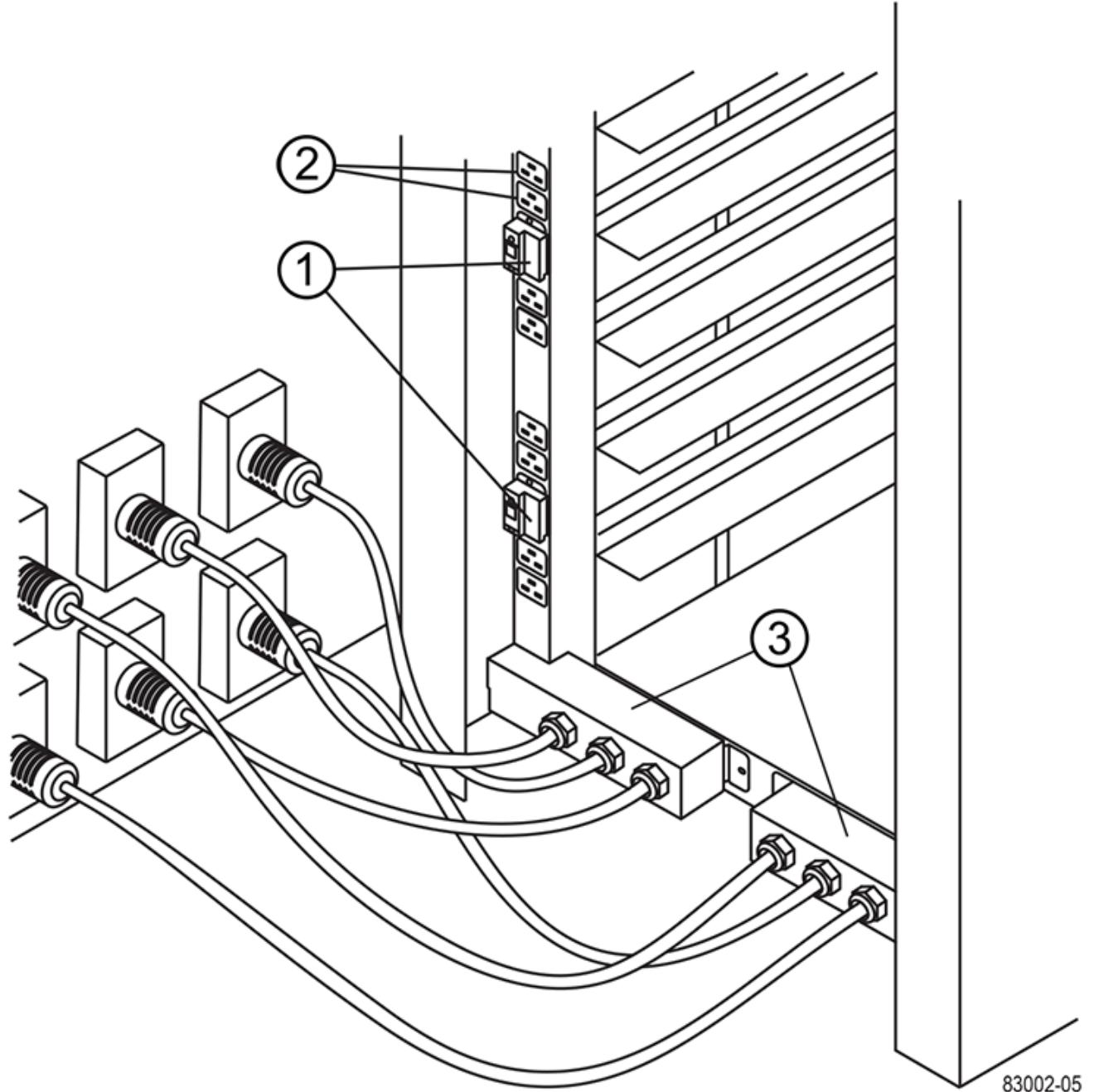
2. 12 個の回路ブレーカーすべてをオフ（下の位置）にします。

3. NEMA L6-30 コネクタ（米国とカナダ）または IEC 60309 コネクタ（米国とカナダ以外）6 個を、それぞれ空いている電源コンセントに差し込みます。



各 PDU をキャビネットの外部の独立した電源に接続する必要があります。

4. 12 個の回路ブレーカーすべてをオン（上の位置）にします。



1.

回路ブレーカー

2.

電源コンセント

3.

電源入力ボックス

5. キャビネットのすべてのドライブトレイの電源をオンにします。



ドライブトレイの電源をオンにしたあと 60 秒待ってから、コントローラドライブトレイの電源をオンにしてください。

6. ドライブトレイの電源をオンにしたあと 60 秒待ち、キャビネットのすべてのコントローラドライブトレイの電源をオンにします。

結果

キャビネットの設置が完了しました。通常の運用を再開することができます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。